

ずっと続く医療・繋がるケア セントラル訪問診療通信

Vol. 14

今号のTOPIC！

最期は家と病院のどちらがいいか？

訪問診療を始めるにあたり、もしくは、継続するにあたり、家と病院とどちらがいいか悩むケースもよくあります。訪問診療は何か何でも家で看取らなければならないわけではなく、それぞれの事情にあわせて先生と相談して決めることができます。

その時に適した方法で一緒に考えていければと思います。

①家で看取るケース

ご本人・ご家族の希望、意志が強く、介護の環境が整っている場合。

②病院→家

コロナ禍で面会禁止も続き、最期の最期は家で家族や会わせたい人と数日だけでも一緒に過ごしたい。

病院に長く入院し、家で看取る予定ではなかったが、コロナによる面会制限があるので、せめて最期は住みなれた家で一緒にいたい。

短期間であれば仕事の都合をつけて、介護ができる環境を整えられる場合など。

*環境の変化に伴う患者様への負担もありますので、主治医の先生とよくご相談ください

③家→病院

介護をしていく中で環境が変わった
もしくは、介護を続けることが難しくなったケース

- ・介護をしている方の体調が悪くなった
- ・キーパーソン以外の家族の転居、出産などで介護のサポート環境が変わった
- ・覚悟していた以上の生活で苦しくなった
- ・独居のためサポートを整えても自宅での生活ができなくなった

④家→病院（レスパイト入院）→家

家族が疲れてしまった、もしくは、今後、
介護を続けられるか不安になってしまったなどで、
一時、病院に入院するケース。

介護を続けていると、想像以上の生活に家族も疲れ、
衝突することもあります。
そんなときに、一時的に病院に入院して休憩をとることも
できます。

セントラル病院はバックベッドがある訪問診療になるので、
気軽にご相談いただけます。



環境も病状も、家族の状態も変わってきます。
その時にあわせて適した環境を選ぶことも検討できます。
先生と相談して、是非、無理をしすぎない生活を送ってください。